

## Stylized Sculpture

- Contemporary Japanese Fashion

from the Kyoto Costume Institute -



©Hiroshi Sugimoto

会期:2007年10月12日(金)~2008年1月6日(日)

会場:サンフランシスコ・アジア美術館

主催:サンフランシスコ・アジア美術館、京都服飾文化研究財団

キュレーション:深井晃子(京都服飾文化研究財団)

杉本博司(アーティスト)

サンフランシスコ・アジア美術館

### 概要

「Stylized Sculpture」展は、日本ファッションが世界性を持つようになった20世紀後期からの日本ファッションを採り上げました。これは、立体的な彫刻としての魅力を放つ、時代の美意識をスタイライズした服を、日本美術の歴史軸の最先端に乗せて評価する試みでした。アーティスト、杉本博司は、出展品の中から4点を撮影し、モノクロームの写真作品を創造しています。同館では同じ時期、杉本監修の「Hiroshi Sugimoto: History of History」展が開催され、二つの展覧会は響き合いながら、時代や既定のジャンルを超えて通底する日本の美意識に光を当てました。

### 出展内容

衣装: 21点

杉本博司による写真作品 4点

出展品総数: 25点

展示: 三宅一生、川久保玲、山本耀司、渡辺淳弥、栗原たおの作品を、グレイの無機的な空間の中にデザイナー別に展示しました。やや高めのステージの上に、フル・ボディのグレイのマネキンを一直線に展示した様は、彫刻が静かに佇んでいるかのように見えます。